

登場人物…

キキヨウ

モッコ

担任

強盗1・2・3

モブ1・2・3・4・5

S1 コンビニ 夏休み直前

強盗二人がレジで店員にナイフを突きつけている。二人ともパンドの被り物をしている

モッコ、制服姿、棚の後ろに隠れてソワソワしている、

モ (夏休み前日になんてことだ)

モッコ、肘が商品にぶつかり音がする

強1 誰だいるのか!

強盗1、店の奥の方へ歩く

モッコ、屈んで少しづつ強盗と距離を置く

強盗1、棚の上から顔を出しモッコを探す

強盗2、店員にナイフを突きつけたまま

強1 どこだおらあ!

店員、レジの裏の機械を操作しようとする

強盗2、それに気付き店員にナイフをつきつける

強2 動くなっつってんだろ!

店員 ひいひい!

モッコ、その間にトイレの方まで逃げて棚の裏で耳を澄ます

す

ガサガサという音がし、トイレを流す音がする

モッコ、音にびびるも、音を出さず舌打ちをする動作をする

る

強盗1、トイレの音に驚いて振り向き、トイレに向かつて

ナイフを向けながら歩く

強1 誰だあ! 出てこい!

モッコ、棚に沿ってゆっく

キキヨウ、制服姿、トイレから出てくる

強盗1、キキヨウにナイフを向ける

キ は?

強1 手を挙げて後ろを向け!

キキヨウ、ポケットの中に手を入れ、紙をくしゃつと丸める

る

強1 早くしろ!

キキヨウ、ポケットの中で拳を握り、強盗1を死んだ目で

睨み付ける

強1 う、刺されたいのか!

強盗1、手が震える

キ 刺しなよ、刺せば私、死ぬよ

モッコ、声の方をちらつと見て驚き、小声で呟く

モ キキヨウじゃん

強1 な、何言ってるんだお前！ 死にたいのか！

キ 死にたくても死にたくなくても死ぬもんは死ぬ

強1 訳わかんないこと言ってるんで早く手を挙げろって

ば！ なんだだよ

強盗1、涙目になり、声が震えて訴えかけるような声になる

キ ドンっ！

強1 うおっ！

強盗1、飛び跳ねて後ずさる、ナイフを持った手を見て息を飲む

キ 度胸もないくせに銀行強盗か、秋の夜長にご苦労なこつて

キキヨウ、強盗1ににじり寄る

強盗1、腰砕けになってどんどん後退する

モッコ、キキヨウを見て興奮して手にぎゅっと力を込め始める、棚に商品が当たる

強盗2、店員から目を離してモッコに近づく

強2 やっぱもう一人いるじゃんかよお

強1 ご、ごめんよ兄貴いいいい！

強2 もういい、さっさとそいつ殺しちまえ

店員、通報のボタンを押してから、何もしてないフリをする

強盗1、震える手でキキヨウにナイフを向ける

キキヨウ 痛いだろうなあ、震えた手じゃ急所外しちゃうよ、

ほら人の死期をちよつと早めるだけなんだから

強盗1、唾を飲み込み、鼻に力を込めてひくひくさせる

キキヨウ、一歩ずつゆっくりと強盗1に近づく

強盗2、はつとして店員の方に向く

強2 お前何もしてないよな！

店員 何もしてません何もしてません。天地神明に誓って神様仏様イエス様、あとアッラー様などなど八百万、万

国の神々に誓って！ してません！

強2 うるせえ！ 黄泉平坂おまえが死体になって転がりがた

くなけりゃ黙って手をあげていろ！

店員 こんなに手をあげるの授業参観以来です！

強2 よかったなあ！ そのまんま一生分あげとけ！

強盗2、それを言うからモッコの方に近づくと

モッコ、キキヨウの方を見るが、キキヨウは強盗1の前で

威圧しているままで動かない。覚悟を決めて眉間に力を込めて2度3度頷く

強2 そこだなあ！

モッコ、目の前にあったお菓子の袋を投げつける

強盗2、それをナイフでガードする

お菓子の袋、破けて中身が落ちる

強2 抵抗はよせよお殺したくねんだからよお

モッコ、ドリンクコーナーに逃げる

強盗2、モッコを追いかける

モッコ、強盗2が来たタイミングでドリンクのドアを開けて強盗2にぶつける

強2 ってえなあ！

強盗2、モッコに追いつこうとする

モッコ、棚からドリンクをぶちまけて転がす

強盗2、転げそうになる

モッコ、その間にキキヨウの方へ逃げる

モ キキヨウ！

キキヨウ、モッコの方へ向く

キ モッコ……？

強盗1、キキヨウがよそを向いた隙に立ち上がってナイフを突きつけようとする

モッコ、キキヨウの方に突撃する

キキヨウ、モッコを避けて棚に張り付いて両手をあげる

モッコ、勢いそのまま強盗1の股間に蹴りを入れる

強盗1、悶絶して倒れる

強2 貴様あよくも！

強盗2、モッコにナイフを向けながら突進し、キキヨウの

目の前を通る

キキヨウ、強盗2に足をひっかける

強盗2、倒れる

モッコ、その様子を見る

モ ひゅー。やるじゃん

キ モッコ、ナイフ奪って

モ あ、

モッコ、慌てて強盗1からナイフを奪い、強盗1につき

ける

キキヨウ、強盗2からナイフを奪い、強盗2につきつける

トイレから水が流れる音がする

パンダのマスクをかぶった強盗3が出てくる

強3 あ、あれお前たち

強盗3、状況を確認してモッコの顔を見てから一人で逃げ出す

パトカーのサイレンの音

警官数人がコンビニに入ってくる

店員、警官に強盗二人の方に指を差し、もう一人が外を出たことを示唆する

警官、強盗二人の方へ行く

モッコとキキヨウ、警官の方をむいて笑顔を向ける

モ あ、やっと来た

キ モッコそれ

モッコ、自分の姿を見る

モ わ、私じゃありません……

S 2 帰り道

モッコとキキヨウ、歩いているがモッコの方が若干先行

モ まさかコンビニでキキヨウと会えるとはねー

キ うん

モ しかも強盗に遭うとはねー

キ うん

モ 高校入ってから全然喋ってなかったもんねー

キ うん

モ 同じクラスなのにねー

キ うん

モッコ、立ち止まる

キキヨウ、モッコを追い越す

モッコ、キキヨウの手をつかむ

モ ちよつと！

キ なに

キキヨウ立ち止まり、モッコも止まる

モ ちよつとなんか喋んなさいよ

キ しゃべりたくない

モ どうしてよ

キ ごめん……ちよつと

モ 何よいけずして！ 親友の立場がないでしょ！

キ 親友とかもういらんよ

モ いるとかいらんとかじゃないでしょー！ チョウチン

アンコウみたいなブスツとした顔して！ それにさつき

のコンビニでも危ないことしてさあ！ かつこよかつた

けどさあ！ 心配させて！

キ しんばいならさ！

キキヨウ、モッコを睨む

モッコ、睨み返す

モ なーによ、

キ もう関わらないでいて……

キキヨウ、俯く

モツコ、眉に力を入れて歌舞伎役者みたな顔をする

モ やなこった

キ は？

キキヨウ、顔をあげる

モ やなこったって言ったんだバカ！

キ 親友の頼みなら聞いたらどうなの！！！！

モ うるせーバカ！

キ バカバカ言いやがってこのバカ！

モツコ、スキップして先へ進む

キ ちよ、ちよと待ちなさい！

キキヨウ、追いかけようとするが面倒になって止まる

モツコ、先の方で振り向いて首を傾げる、そこから全力で

キキヨウのところまで走ってくる

キキヨウ、面食らって上体を引く

キ な、なによ

モ 親友置いてけないっての

キキヨウ、しばらくモツコを見つめ、そして盛大にため息

をつく

キ 私、足遅いの覚えてる？

モ だからさっさと走って嫌がらせしたんじゃない

キ さいてー

モ そういえば明日から夏休みだけど予定は？

キ 何もないけど

モ じゃあ明日キキヨウの家ね！

キ は？

モ 楽しみ〜！

モツコ、スキップしながらどんどん前に行く

キキヨウ、呆然とするが、やれやれと困ったように微笑す

る

S3 キキヨウの家

モツコ、キキヨウの家のインターホンを鳴らす。誰も出て

こない

モ ここであってたっけ

家の中からバタバタ足音がする

キキヨウの母、玄関を開ける

母 あ、モツコちゃん。お久しぶりね。キキヨウから聞いて

るわ

モ お久しぶりです。そうです、約束してて

母 そうだったのね。どうぞどうぞまだ上で寝てると思うけ

ど部屋は

モ 覚えてます。それじゃあお邪魔しまゝす

母 いらつしやい

モッコ、キキヨウの家に入る

モ (お母さんちよつと瘦せたかな)

モッコ、階段を上がりキキヨウの部屋に入る

モ キキヨウ

キキヨウ、寝てる

モッコ、キキヨウの部屋をぶらつく、飾つてある写真をい

くつか見る、家族写真に紛れてモッコとの写真もある

モ うわゝ懐かしい

キ そうでしょう

キキヨウ、モッコの後ろに立っている

モッコ、驚いて飛び上がる

モ いつの間に起きてたの

キ いや、起きてただけで起き上がるのがめんどくさかつ

た

モ 知らぬ間にもやしっ子になってたのね

キ そうよ。そのうち干からびて死ぬわ

モ まあまあそう言いなさんな。おテーブルにお座りして

モッコ、さつさと座る

キキヨウ、腰に手を当ててあからさまにため息をつきなが

ら座る

キ それで、どうしたの

モ それはこつちのセリフよ

キ 何がよ。急に押しかけて

モ タイミング的には遅いくらいよ。そうね、もうあと2ヶ

月早く来るべきだった

キキヨウ、ドキツとする

キ どうして、そう思ったの

モ いや、あんた急に付き合ひ悪くなつたつていうか、最初

の1ヶ月アホみたいに愛想振りまいてたのに急に大人し

くなつたじゃん

キ そう、かも

モ 男か

キ 違う

モ じゃあ身内の不幸か

キ 身内にはない

モ そうかそれじゃあ……父さん

キ 倒産してない

モ ふーん。

ノックの音、キキヨウの母、お茶を持って入ってくる、テー

ブルにお茶を置く

母 ごゆつくり

キキヨウの母、割と丁寧にお辞儀

ドアの閉まる音

モ おばさまちよつと痩せた？

キ 気苦労が絶えないみたい

モ ま、生き辛い時代だもんなー

キ モッコもやっぱり？

モ そりゃあねー。毎日どう振る舞っていいか悩める限りよ

キ だよね……

キキヨウ、お茶を飲む

モッコ、つられてお茶を飲む

モ ぶはー。黒豆茶

キ 味がわかるの？

モ いや、前にここ来た時も黒豆茶出してた

キ いい記憶力してるねー

モ そうでもないよ

モッコ、お茶を飲む

キキヨウ、コップをくるくる回して何か言いたそうにする

モッコ、それに気づいてキキヨウを見る

モ キキヨウ？

キキヨウ、コップを回す手をとめる

キ 私さ

モ 何？

キ すつごく仲良い友達でもない限り、高校が終わったらみんなに忘れられちゃうと思つてさ

モ まあね

キ なんか不安になっちゃつて。そんなら最初から誰に覚えてもらわなくてもいいかなつて

モ 今時は同窓会も流行らないらしいし

キ 大きな物語つてのはないらしいのよね。今の時代は

モ 大きな物語？

キ そう。昔はみんなその、大きな物語の中で生きてたと思

モ うんだけど、今はみんなが主役の小さな物語ばかり

モ ふんふん

キ 私は一人一人の物語の中でモブとして出てきて、せいぜ

い卒業して2、3年で忘れられちゃう。十年後に酒の席

でたまに思い出すくらい

モ なるほど？

キ 忘れられちゃうくらいなら、最初からいなくても変わる

モ ないかなーつて

モ ふーん。嘘だ

キ 何よ

モ 本当にそう思ってるなら私も無視してるはずでしょ

キ いやそれはあなたが

モ 徹底して無視できたはず！ なのにこうして私を家に上

げてご講釈垂れてるわけ！ 本当は

キ 本当は？

モ あんたが知ってるでしょ

キ キキヨウとモッコ、見つめ合う

キ キキヨウ、お茶を一口飲む

キ 私、大きな物語の主役になりたかった

モ やっぱり

キ でも

モ デモもストライキもない！ あんたがやりたいことは！

キ そう、だね

モ とは言えね、私もわかるよ。なんか、ひとりぼっちになっ

ちやっつたような感覚。小学校、中学校、高校と来てき、

どんどん社会が大きくなるんだけど、そこには誰も主人

公がいなくて、みんなバラバラの物語の中にいるの

キ うん

モ だから、なんかね、みんなに忘れられちゃう怖さって、

わかる

キ 永遠なんてものはないもんね

モ そうだよね

モ モッコとキキヨウ、二人同時にお茶を飲む

キ でもさ

モ でもさ？

キ 永遠とは言わないけど、数十年くらい私が語り継がれて

もいと思うのよ

モ そうだね

キ てか、語り継がれて欲しいのよ

モ 寂しいもんね

しばらく静寂

モ 生徒会長とか、なったら

キ 生徒会長？

モ 今から部活でスターとか無理だけど、生徒会長とかなら

キ それだけじゃあ難しくない？

モ なんか偉業を残さなきゃね

キ 偉業、偉業……

キ キキヨウ、ふと壁にかけられた体操着を見る

キ モッコ

モ なあに

キ うちのジャージ、ださくない？

モ ダサイ

キ 生徒会長権限でお洒落にできるかな

モ あ、いいかも

キキヨウとモッコ、立ち上がり、互いの手をとる

キ 私は生徒会長になってジャージを新しくする

モ 私は？

キ 副会長は確か指名制だからモッコが副会長

モ ま、いいでしょう

キ それでは頑張りますようか

モッコとキキヨウ、拳を付き合わせる

S 4 校門の前

モッコとキキヨウ、ダサイジャージを着てピラを配っている

る

キ 次期生徒会長立候補者のキキヨウです！ ダサイジャージを改革します！

モ よろしく願います！

キ ダサイジャージで校外清掃に駆り出されて、笑いものに

される現状を改革します！

モ よろしく願います！

キ 前回の清掃で一人だけピンクのジャージ着てた英語の先生を許せますかー！？

モ ゆるせなーい

キ 私が生徒会長になればかつこかわいいジャージに新調します！

モ すまーす

モ 何人かピラを受け取る

モ 何人かピラを受け取る

モ これ効果あるの

キ ジャージがダサイのはみんな認識しているはず

モ いやーでもさあ、

モッコ、指を差す

モッコ、指を差す

キキヨウ、指の方向を見る

キラキラ美男女がピラを配っている

男 よろしく願います！

女 よろしく願います！

キキヨウとモッコ、お互いを見る

モ うわマジでダサイなこのジャージ

キ だよ。早く脱ぎたい

キキヨウとモッコ、頷き合う、先ほどより大声でピラを配

る

キ ダサイ！ ダサイジャージを改革しませんかー！！

モ よろしく願います！

S 5 生徒会選挙演説

美男、壇上で演説

壇の隅には美女とキキヨウとモッコ

美　くというわけで、僕が生徒会長になったら、生徒の皆さま

んの話聞き、先生方とも話し合いを持ち、協調して学

生生活をより豊かなものにするために身を粉にして活動

をしていきたいと思えます。ご清聴ありがとうございます

した

美男、壇で一礼して壇上の隅に離れる

キキヨウ、ダサイジャージを羽織っている。美男と入れ違

いに壇へと行き、演説を始める

キ　しょっ

キキヨウ、声の上擦りマイクにあたり、キーンと音がする

クスクスと笑う音がする

キキヨウ、咳払いをして改めて始める

キ　学生諸君。諸君らは今の学生生活に満足しているであろ

うか。諸君、今の学校は満足のものだろうか。諸君、

私は満足である！

会場が少しざわつく

キキヨウ、会場を見渡し、ざわつくの待つ

キ　何が不満足なのかは諸君らがお察しの通りこれである

キキヨウ、自分を指差す

キ　これだ。この小豆色の芋くさいジャージである！ 諸君

らが校外清掃をしている時になんと呼ばれているか知っ

ているか？

会場の生徒たち、口々に小豆洗いと小声でいう

キ　そう！

キキヨウ、大仰に前に向かって指を差す

キ　あずき、あらい、だ！

キキヨウ、思いつき間をためてから、手をしまう

キ　小豆洗いと言われて嬉しいものはおるか！ いるならば

私は生徒会長を諦める用意がある！ だが私は知ってい

る。学生諸君は小豆洗いなどと言われて喜ぶ蒙昧な集団

などではないことを！ 我々には誇りがある。愛と自由

と学校を尊ぶその精神を曇らすただ一つのファクター、

それが

キキヨウ、たつぷりとためる

会場からは生唾を飲む音が聞こえる

キ　このダサイジャージである！！！！

キキヨウ、ジャージの上着を壇上に脱ぎ捨てる

キ　今ここで約束しよう。私が生徒会長になった暁には、こ

のダサイジャージをよりかっこいいジャージとし、諸君

らを二度と小豆洗いとは呼ばせない。諸君らの名譽のためにはここで義によつて立ち、ダサイジャージの改革をするのである！

キキヨウ、腕を天井に向かつて振り上げる

しばらく会場はシーンとする

美男、ぼそつと呟く

美 え、あれ普通にかっこいいと思うけど

会場からブーイングの嵐

美女、美男を嘲笑つて壇上を降りる

キキヨウ、美男を横目に勝ち誇つたように笑う

モッコ、ここぞとばかりに声を張り上げて掛け声をあげる

モ ニューー！ ジャージ！ ニューー！ ジャージ！

会場からモッコに合わせて掛け声上がる

沢山の人 ニューー！ ジャージ！ ニューー！ ジャージ！

しばらくニューージャージの声が続く

S 6 ジャージの行進

朝の校庭、複数人の集団がダサイジャージを着て行進をしている

集団 ニューー！ ジャージ！ ニューー！ ジャージ！

その集団を教員複数名が頷きながら見ている

教室からキキヨウとモッコがその様子を見ている

キキヨウ、満足そうに背いている

モ ご満悦ですな新生徒会長殿

キ ほつほつほ。天下とはこれほどまでに近きものとは思

もよらなんだ新副生徒会長殿

二人 おっほつほつほ

S 7 文化祭の出し物決め

教室の前でキキヨウが立っている

キ さて！ お次はこれよ！

キキヨウがバンと黒板を叩く。黒板には文化祭出し物決めという文字

キ 何かアイデアは？

モッコ、手を上げる

キ はいそこ！

モ 演劇！

キ いいね！ 他は！？

モブ5人くらいが迷路とかお化け屋敷とか叫ぶ。

キキヨウ、黒板に大きく迷路、お化け屋敷と書いていく

モッコ、慈しむような目線でキキヨウを見る

モブの誰か 生徒会長ー！ 予算たくさん欲しー！

キ キキヨウ、大仰に振り返る

キ よか、ろう

S 8 放課後花壇

キキヨウとモッコが花壇にじょうろで水やりをしながら談笑している

モ 今のところ最高じゃん

キ そうね。生徒会長になって、文化祭もこのままいったら

主役級

モ 学校の主役って感じ。誰のおかげでかな？

キ ま、私の実力？

二人、大声でガハハと笑う

モッコ、軽くキキヨウをこづく

モ 私を忘れんなよ！

キ もちろん！ 私の命の恩人って感じかな

モ そこまで言うなって！

二人、再びガハハと笑う

モ とところで、なんでうちら花壇で水やりしてるの

キ それはね、なんとなく花、育てたくなつて

モ 花？

キ これ、今育ててるやつ

モ へー。なんていうのこれ

キ わたし

モ そんな名前があるのか

キ 分かってねーな！？

モ え？

キ まあいいよ。そのうちわかる。そしたら一本ぶちつてもつていいよ

モ ぶちつてねえ……まあ気が向いたらね

モッコ、じょうろの中が空になり帰ろうとする

キキヨウ、動かない

モッコ、動かないキキヨウに気がついて振り向く

モ キキヨウ？

キキヨウ、モッコに背を向けたまま喋り始める

キ 西洋と日本だとさ、自然に対する考え方が違うらしいの

モ あー、なんか前に現文でやったつけ

キ そうそれ。造花と生花の違い的なやつ

モ それが、どうしたの？

キ モッコはどつちかなーって

モ うーん私はどつちも微妙。朽ちるのは分かってもさ、なんか残したくなるじゃん

キ そっか……

モ だからなんかさ、造花は好きじゃないけど、生花を冷蔵庫に入れてなるべく長く保たせようとする、的な？

キ いいね、その考え方。モッコがそれでいいならよかつたや

モ え？

キキヨウ、朗らかな表情で振り返り、モッコに微笑みかける

近くの道をぶつぶつ言いながら歩く男が通る(強盗3)

強盗3、キキヨウとモッコを見つけてハツとする

強3 お、おまえらあああああ！！！！

キキヨウとモッコ、びくつとして声の方を向く

強盗3、近くの門を乗り越えて学校に侵入する

モ え、なになに

キ あ、あれ逃げた強盗よ！

強3 お前らのせいで！ 俺は！ ずつと！ ビクビク！

仲間にも後ろ指を刺されて！

強盗3、叫びながら二人を追いかけ始める

キキヨウとモッコ、必死に逃げるが逃げ場がないが花壇の前で追い詰められる

強盗3、錯乱して雄叫びをあげ、モッコの肩を掴む

キキヨウ、近くにあったシャベルで強盗3の手を攻撃しよ

うとするが、震えて動けない

強盗3、キキヨウを一瞥したあと、モッコを花壇に投げ飛ばし、指をばきばきと言わせる

強3 おまえ、コンビニで、仲間を！

モ なになになにあんとときのパンダのマスク！？ ちよつと

キキヨウ！

キキヨウ、ぶるぶると震えて尻込みする

モ キキヨウ！

キキヨウ、シャベルを落とす

モ ちよつとあの時の気概はどこいったの！ 絶頂期でしょ

あんた！

強盗3、キキヨウの為体を見た後不敵な笑みを浮かべ、空

を見上げながら獣のような叫び声をあげる。モッコの方に向

き直ると拳を振り上げる

強3 美人にしてやるからよお！ ちよつくら殴られてくれ

よ！！！！

モ キキヨウ！ キキヨウ！ 大丈夫なのキキヨウ！

キキヨウ、蹲って動かない

モ くそう、こうなつたら

モッコ、花壇の土を握り締めて強盗3に投げつけようと

構える

強3 そうはさせねえぞ！

強盗3、モッコの手を掴み広げさせる

モッコ、抵抗するが徐々に手が開かれていく。開かれた手の中に花があり、それに気づく

モ あ、お花

強盗3、手のひらの花を見て動きが止まり、モッコから手を離す

モッコ、それを見て強盗3の眼前に花を差し出す

モ お、お花どうぞ

強盗3、急に泣き出す

強3 うわあああはははああああうわああああ！！！俺

はな！俺は！母ちゃんにもらった！うわあああ

はははああああうわああああ！！！！

強盗3、モッコから離れて地面に仰向けになりながら大声で泣く

モッコ、立ち上がって服の土を払う

強3 母ちゃんにな！愛はもらってないけど！花は！

花だけもらったんだよ！うわあああはははああああ

ああわああああ！！！！

モ なにそれ

モッコ、強盗3を汚物を見るような目で見ながらキキヨウ

の元へ向かう

モ キキヨウ

キキヨウ、震えが若干止まり、モッコを見上げる

キ モッコ……わたし……

モ 見損なったわ

モッコ、その場から去る

S9 文化祭準備

キキヨウ、腕に生徒会という腕章をつけながら廊下を歩き、自分のところの教室に入る

教室の外の窓が段ボールや暗幕で閉ざされている

モブ1、キキヨウに気づいて近づく

モブ1 あ、キキヨウさん！

キ 進捗はどう？

モブ1 結構順調。これも生徒会が予算増額を押し付けたからだ

よー！

キ そう。それはよかった

魔女の格好をした生徒が近くを通る

キキヨウ、その魔女が通り過ぎるのをじーっと見つめる

モブ1 どうかしたの？

キ あ、いや……よくできてるなあ……って

モブ1 あれ棺桶からぬ〜と出てくるの！

キ わ〜怖いね

モブ1 でしょ

キ ちよつと時間あるんだけど何か手伝おうか？

モブ1 う〜ん、まあ特にないけど顔出してつてよ

キ ありがとう。そうする

キ キヨウ、モブ1に連れられて教室に入る。教室の中は机やパネルで仕切りが作られている。モブ1に挨拶して彼女と離れ、棺桶のある場所へと行く。棺桶の横に座る

魔女の格好をした生徒、棺桶からゆっくり正面を向きながら上体を起こし、90度上がったところでキキヨウの方へゆっくり顔を向ける

キ キヨウ、それを眺める

キ モッコでしょ

魔女の格好をした生徒、裏声で返事をする

魔 違うよ

キ はあ、まあいいや。顔見らんないほうが話しやすい

魔女の格好をした生徒、帽子を深く被って顔を見せないようにし、首だけでうなづく

キ 私ね、死ぬのなんて怖くないな〜って思ってた

魔 怖いでしょ

キ うん、怖い。モッコと一緒にいろいろやってから、なんか生きてるのが楽しくなっちゃった

魔 そりゃあよかった

キ でもその分さ、死ぬのが怖くなっちゃって、いつか死ぬって言うのがどうにも受け入れられなくなってきた

魔 うん

キ あんたのせいよ

キ キヨウ、魔女の帽子を両手で取る。中からモッコが現れる

キ 魔法にかかっちゃったの

モ かけちゃった

キ キヨウとモッコ、顔を見合わせて笑う

モ 生徒会長とかならない方がよかった？

キ なんかね、全校生徒四〇〇人いてさ。その四〇〇人それぞれに私がいるわけよ

モ うん

キ 四〇〇倍に拡張された自分にさ、押し潰されそうになる

モ クラスメイトもカリスマ生徒会長様がこんな弱いところがあるだなんて思ってたないだろうね

キ か弱いどころじゃないよ。そのうちすぐ死んじゃうくら

い、弱弱しいのよ、私って存在は

モ　そこまで弱気になるなって

モッコ、キキヨウをこづく

キ　卒業するまではみんな私を覚えていても、そのうち10年
20年経った頃には誰も私を覚えていないと思うのよ

モ　生徒会長クラスだと忘れられないんじゃないか？　私は
忘れられそうだけど

キ　……まあ、そんならい不安なわけよ。虎は死して皮を残
し、人は死しても名を残す。それなら名前すら残らなかつ
たら私ってどういう存在だったのかなーって

モ　おいおい。それが大きな物語を作ってやるって意気込ん
でた女王様のお言葉かい

キ　あれから、なんか弱気になっちゃって
モ　気にすんなって

モッコ、キキヨウの肩をバンバンと叩く

キキヨウ、一瞬咳き込む

モ　ありゃ、マジで弱ってたのか

キ　ちよつとね

キキヨウ、咳き込みながら弱々しく微笑む

モ　ごめんごめん。飲み物買ってこようか？

キ　別にいいよ……あつ

モ　どうした？　膝枕？

キ　は？

モッコ、肩を竦めて戯ける

キ　代わりと言ってはなんだけど、

キキヨウ、モッコの耳元でぼそつと呟く

S 10　文化祭当日

キキヨウたちの教室、人がたくさん入っている。中は真つ

暗

モブ2　わーこわそー

モブ3　暗いだけだって

モブ2と3、道なりに進む。ちよつとしたスペースに棺桶
があり、暖色で照らされている

モブ2　なにこれ

キキヨウ、棺桶からゆっくりと這い出る。かすれた声を出
しながら足をガクガク揺らしながら上体を起こす

キ　わたしの、眠りを起こすのは……

モブ3　あ、生徒会長じゃんこんにちは

キキヨウ、黙ってモブ3を見つめる

モブ2　あ、あのえと……面白いですね！

キキヨウ、黙ってモブ2を見つめる

モブ2、間に困ってモブ3の手を引っ張って道を行く

キキヨウ、その後ろを見る

キ 面白い、か

キキヨウ、掌をグーパーしてから自分の体を見る

キ 生徒会長が棺桶から出てくるのは、面白いか……ふふふ

キキヨウ、棺桶に入り、天井を見つめながら微笑む

S 11 体育の時間

キキヨウとモッコやクラスの人たち、体育館でドツデボールをしている。モッコとキキヨウは敵同士。モッコがボールを持つている

モ やあキキヨウさん。ドツデボールでも名を上げますか

キ できることなら慎ましやかに終わらせたいものね

モ 楽隠居は！

モッコ、振りかぶる

モ させないよ！

モッコ、ボールをキキヨウに投げけるが、キキヨウは避ける

キ まだまだ老骨を折るほどじゃないね

キキヨウ、腰に手を当ててモッコの方を見てかっこつける

モ キキヨウ後ろ

キ え？

キキヨウ、振り返るが、モブ1がキキヨウの顔面にボール

を当てる。キキヨウ、倒れる

モ キキヨウ！

モッコ、キキヨウに駆け寄る

S 12 保健室

キキヨウ、保健室で寝ている

モッコ、見舞いに来る。キキヨウにデコピンする。

キキヨウ、眉を眉間に寄せるが口を開かない

キ 王子様のキスで目覚めるのは白雪姫だったかな

モ ドツデボール大のリングを食べるとかすげー顎してるな。

モ そんなゴリラがやられるのですか

キ もう少し童話の中で眠らせてよ

モ 寝すぎ。もう放課後

キ そっか、心配かけちゃったかな

モ 心配したって

モッコ、キキヨウに抱きつく

キ ちよつとモッコ

キキヨウ、モッコを引き離そうとするが出来ず、そのままの姿勢で少し壁にもたれる。モッコの髪を力を入れず撫でる。しばらくそのまま

モ ねえ、キキヨウ

キ なに？

モ 痩せた？

キキヨウ、驚いて撫でる手が止まる

モ 喜んでもいいんじゃないの？

モッコ、キキヨウから離れて屈んで上目遣いに喋る

キ 痩せ過ぎはよくないよ

モ ポール一発で寝込むのは確かにね？

キ でも私、

キキヨウ、遠くを見ながら呟く

キ 私、まだ運動できると思ってた

モ 女傑生徒会長は意外とか弱かったって、驚くかもね

キ ドッチボールで活躍すればもつと勇名を馳せたかな……

モ いやーまあ、名譽を背負うには？ ちつとばっかし肩幅

が足りなかったかもね

モッコ、キキヨウの肩を軽く叩く。感触に違和感を感じ、

掌を見る

モ 老骨に鞭打つのはやめた方がいいだろうね

キ ちよつと無理しちゃった

モ 疲れたならお膝貸すよ

モッコ、自分の膝を二回叩く

キ ありがとう

モ でもね、あんた生徒会長になったんだからいつまでも眠

り姫にはなれないのよ

キ そうなったらあなたが生徒会長になって。アメリカの副

大統領みたいに

モ 不吉なこと言うなよ

キ ま、とりあえず起きられそうだし。先生に挨拶しなきゃ

モ あ、先生ね……

モッコ、少し考えるそぶりを見せる。

キ どこか行っているの？

モ あーそうそう。屋上にいるってよ

キ なんてそんなところに

モ まあまあ、それじゃあ行きましょう

S 13 放課後の屋上

モッコ、キキヨウに肩を貸しながら屋上の階段を登る

キ いつもすまないねえ婆さんや

モ それは言わない約束でしょ婆さん

キ 言わずにはおれなんだ婆さんや

モ 言ってる間に屋上だよ婆さん

モッコ、屋上の扉を開ける

モ ふむ。風が強い

キ でも、いい天気

二人、屋上のベンチに座り、上を見る

モ わあ綺麗

キ 雲がどんどん流れてくね

モ はやいなあ……

キ もうすぐ冬休みだね

モ 夏からここまであつという間だったな

キ ほんと。ここ数ヶ月がさ、数十年くらいになった気がしたよ

モ へへっ婆さん気が早いぜ

キ モッコはあと何年生きるよ

モ うーん八十年くらい？ キキヨウは？

キ 百万年

モ は？

キ 百万年、あと百万年、生きれたら

モ なにそれ川柳？

キ 作、私

モ 無理難題申し上げるなあ

キ 百万年前はさ、まだ多分猿とゴリラと一緒にだったんだよ

モ そうね

キ その時から名前が残ってる人なんていないじゃん？

モ そもそも人じゃないし

キ そう、私たちは人になったんだよ

モ うん

キ 虎は死して皮を残し、人は死して名を残す

モ 好きだねその言葉

キ 人間なら多分百万年生きられると思うんだ、形は残らなくとも

モ なるほどねー。まあ私らは形だけ八十年残ってあととは全部さよならばいばいよ

キキヨウ、笑い出す

モ なによ

キ モッコはね……

S 14 モッコの自室

モッコ、自室で冬休みの宿題を解いている

モ うおー！ 宿題終わってないやべー！ 誰かに手伝ってもらいてー！

携帯を取り出してキキヨウに電話をかける。出ない。ベツドに携帯を投げ飛ばす

モ バカやろー！ キキヨウのやつ全然連絡つかないじゃん

か私の宿題手伝えー！

ひたすら教科書とプリントをにらめっこして、手を動かす

モ そういやあいつ。屋上でなんて言ってたっけな

再び宿題と向き合う

モ うおー！

S 15 冬休み明けの教室

モッコ、教室に入り、中を見回す。キキヨウはいない

モブ1 おはよーモッコ

モ お、おはよー

モッコ、自分の席に座りカバンを漁ってプリントを出し、枚数を数える。

数え終わって安堵し、それを机の中に入れて

再び教室を見廻しキキヨウを探す。いない

S 16 キキヨウの家

モッコ、制服姿のままキキヨウの家に突撃する。インター

ホンを鳴らすと、キキヨウの母が出てくる

モ こんにちははおばさん

母 あ、モッコちゃん。えと、キキヨウは寝てるんだけど

……上って

モ お邪魔します

モッコ、キキヨウの母に挨拶してから階段を上りキキヨウの部屋に入る

モ たのもー

そのままキキヨウが寝ている横に立つ

キ 我が眠りを妨げるのは誰だ

モ 私だ

キ お前か

キキヨウ、目を開けて上体だけ起こす

キ やあモッコ。どうしたの

モ やあじゃないよ。電話したのに出ないし学校来ないしさー

キ いやーちよっと体調悪くって

モ お邪魔しない方がよかつたかな

キ ううん。来てくれてよかつたよ

キキヨウ、微笑む

モッコ、仏頂面でキキヨウを睨むが、ため息をついてベッドの横に跪く

モ 全く心配させないでよ

キ ごめんね……

キキヨウ、徐に窓の外を見る

モ なんかに外にあった？ UFO？

キキヨウ、首を横に振る

キ なんかに外ってさ、思ったより綺麗な場所だったなーって
モ けけけ、バアさんみたいなこと言っちゃって

キ ふふふ、私は若いまんまだよ

キキヨウ、力なさげに笑う。壁にもたれながらモッコも見
ず、外の方に目線だけ向けて喋り始める

キ ねえ、モッコ。私ね、夜眠れない時があるよね、窓を開
けて空をずーつと眺めるの。いつかネバーランドに行け
るんじゃないかなーって。いつまでも子供でいられて、
いつまでも生きられるような、そんな夢みたいな場所

モ 御伽噺の中だけでしょそんなの

キ モッコ

キキヨウ、体をモッコの方に向けて真っ直ぐモッコを見る

モ な、なにさ

モッコ、つられて姿勢を良くしてキキヨウに正対する

キ あなたに、ネバーランドになって欲しいの

モ は？

S 17 放課後友人歩き

モッコ、モブ4・5と喋っている

モブ4 そういやモッコさーキキヨウさんと仲良かったみた

いだけど

モブ5 いきなり推薦人になって副会長だもんねー

モ キキヨウとは中学の時に仲良くってさ、その縁でなんか

こーなった

モブ4 へー。なんかキキヨウさんつつき辛いと思ってた
けど、意外と気さくだったね

モ 中学の時は違ったんだけどなー

モブ5 逆高校デビューってやつ？

モブ4 逆ってなによ逆って

モ 急に痩せたり元気なくなったりしてさ、どうしちゃった
んだろ

モブ5 恋煩い!？

モ ないない

モブ4 あのさ、それって

モ うん？

モブ5 そういえば今日来てなかったし、体育で、倒れてた

……でしょ？

モ うん

モブ4、モッコに近づき耳元で喋る

モ えっ、

モッコ、モブ4と5と顔を見合わせる

モ ちよ、ちよつとごめん！ お先！

モブ4・5 いってらー

モブ4と5、顔を見合わせる

S 18 キキヨウの家

モッコ、キキヨウの家の前に着き、インターホンを押す。

音が出ない。何度も押しまくる

モ 使わなすぎて壊れたか！

玄関のドアを直接叩く

モ すいませんーんおばさーんモッコですー！

しばらく叩くが誰も出て来ない。叩くのをやめて、表札を

探す、見つからない

諦めてキキヨウの家から離れる。5メートルほど離れてか

ら振り返り、キキヨウのいたであろう部屋を見る。カーテン

がない

S 19 自宅

モッコ、とぼとぼと元気なさげに自宅に帰る

モ ただいまー

母 おかえりー

モッコの母、モッコを迎えに玄関までくる

母 これ、キキヨウさんところから来てたよ

モッコの母、モッコに向けて手紙をひらひらとさせる

モ なに！ ちょうだい！

モッコ、母からひったくるようにして手紙を受け取り、自
室に行く。自室の机で手紙を広げる

手紙の内容…しあわせになくれ！

モッコ、ムカついて手紙をビリビリに引き裂く

モ あのバカおちよくつてんのか！！！！

モッコ、引き裂いた紙を踏みつけ地団駄を踏む。踏んだ紙

の中にP Sの文字が見える

モ 何これ？

モッコ、手紙の切れ端を拾い、ハツとする。急いで引き裂

いた手紙をつなぎあわせてP Sの後を読む

モ ビーえす。花壇の花をおねがい

モッコ、部屋から走り出す

S 20 職員室

モッコ、職員室のドアを勢いよく開ける

モ せんせー！ たんにんのせんせー！

職員室、ざわつく

担任の先生、モッコに近づき、答える

先 キキョウさんの話だな

モッコ、力強く頷く

S 21 副会長演説

体育館、生徒が集まっている

モッコ、壇上に上がる。胸ポケットには花壇の花が差してある。壇の前に立つたら一礼して、喋り出す

モ 私たちは、年を取ります。でも年を取らなくなった人もいます。とはいえ、その人も永遠に生き続けるわけじゃありません。私たちが忘れてしまえば、時は残酷にも、前に向かって動いてしまいます。いつまでも子供でいられる、そんな場所は、御伽噺にしか存在しないでしょう。だから、みんな年を取る。年をとらなくなった人を置いて

一息つく

モ 人の名は何年残るものなのでしょうか。信長が死んでから四〇〇年、義経が死んでから八〇〇年、聖徳太子は一四〇〇年残っています。反対に、祖父母や両親は、中学校の同級生は、小学校の同級生は、あと何年残るのか。今すぐ忘れ去ってしまえば、辛い記憶と共にさよならで

きるでしょう。ですが思い出せなくなるのはもつと辛い

のではないでしょうか。あの日、あの時、あの場所で、触れ合った人の温もりを思い出せなくなるのは、私は辛いです

右手を心臓のところへ置き、服をぎゅつと掴む

モ 思い出されなくなるのも辛いでしょう。思い出されないまま、そのまま石の下で眠り、石の存在すら忘れられて眠るのは、酷く、悲しいことでしょう。百万年とは言いません。せめて一〇〇年くらいは、長生きして、私のここに

胸を思い切り叩く

モ ここに、年を取らなくなった友人の名前を、刻んでおきたいと、思う次第です。

深呼吸する

モ 皆さんの、この四〇〇人の胸にも、刻んでいただけたらと思う、次第です

S 22 教室で花瓶

モッコ、モノローグ

モ あれから何日か泣いた。今でも思い出すたびに涙が出てくるけど、忘れることはできない

モッコ、花瓶（花壇にあった花が入っている）を持って教室に入る

モ 誰も永遠にはなれやしないけど、忘れられなければ、あと何十年かはその人の中で生きていける

モッコ、花瓶を窓辺に置く

モ 四〇〇倍になったあんたはそのうち、どんどん萎んで行って、たまに思い出されるくらいになって細々と生きるだろうけど

窓をちよつとだけ開く。花瓶の花が揺れる

モ 少なくとも私があと八十年くらいは、主役さまを覚えといてやるから。ちよつくら窓辺で待つてなよ。ネバーラ

ンドの住人さん

花瓶の位置を調整、モノローグ終わり

モ よしっ

モッコ、隣の席に座って花瓶を眺める

カメラ段々と引いていく